

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 : 令和5年3月31日

事業所名 デイサービスセンターあおば

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	33%	0%	67%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	ミーティング、会議等で検討している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	80%	20%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	83%	0%	17%	・法人内の内部監査、監事監査を実施している。	・第三者評価の受審はしていないが、毎年法人内の福祉サービス評価を行い業務改善に取り組んでいる。今後、第三者による受審を検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	・外部の研修がコロナ禍で少ない中、内部研修の開催やZOOM等のリモートで受講している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	17%	0%	・主にケース担当と児童発達支援管理責任者が話し合っ て立案。他職員へ役割を分 担することもある。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	17%	0%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	17%	50%	33%	・平日、長期休暇における差はない。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	83%	0%	17%	・1対1の個別セッションのため、個別活動が多い。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	16	その日行われた支援の振り返りを次の日までに、気付いた点等を共有している	83%	17%	0%		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	67%	33%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	0%		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 : 令和5年3月31日

事業所名 デイサービスセンターあおば

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	68%	16%	16%	・主にご家庭との調整、連絡帳を活用。 ・保護者からの情報共有。	・事業所側から積極的に申し送りなどを行い、情報共有に努める。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	67%	33%	0%		・現在受入れの実績はないが、受入れの際は医療機関との連携を整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83%	0%	17%		
	24	放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	67%	33%	0%		・家族からの要望があれば、情報共有を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	0%		・専門機関が主催する研修等には積極的に派遣する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	33%	17%	50%		・交流機会の設定を検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	50%	0%	50%	・所長が県の自立支援協議会関連委員をしている。	・公表されている情報を共有する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	83%	17%	0%	・連絡シート、日々の申し送り、面談等で保護者との情報を共有している。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して支援を行っている	100%	0%	0%		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	・契約内容の説明時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	0%	・オンラインで保護者懇談会の実施。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%	・苦情等の窓口とその流れについて、玄関への貼りだし、保護者への説明等を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%		
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	・年度ごとに、個人情報の取扱いについて同意書を取っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17%	33%	50%	・地域資源の活用、相談窓口の広報。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 : 令和5年3月31日

事業所名 デイサービスセンターあおば

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%	・職員は把握している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	67%	33%	0%	・月1回避難訓練の実施。(地震、火災、風水害、感染症、不審者)	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	・法人内外の研修の他ライフサポートあおばの研修も実施。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	0%	・マニュアル整備。研修の実施。保護者に事前に説明し、支援計画書に記載し同意を得ている。またやむを得ず身体拘束を行う場合の共通理解はしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	・年度初めにアレルギーの有無を確認。イベントの際も都度確認している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	・実際に起きた事例を支援会議・運営会議にて検討し、回覧し周知している。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和5年3月31日

事業所名 デイサービスセンターあおば

保護者等数(児童数) 1 回収数 1 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない (未回答を含む)	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	0%	0%	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	0%	100%	0%	0%	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	0%	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	0%	0%	0%	100%	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	0%	100%	0%	0%	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100%	0%	0%	0%	
保護者への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	0%	100%	0%	0%	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	0%	100%	0%	0%	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	0%	0%	100%	0%	・面談の際には丁寧な説明を心掛け、保護者に対して適切な助言等をおこなう。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0%	100%	0%	0%	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	0%	100%	0%	0%	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	0%	100%	0%	0%	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	0%	100%	0%	0%	
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%	
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	0%	100%	0%	0%	
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0%	100%	0%	0%	
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	0%	100%	0%	0%	
	18	事業所の支援に満足しているか	0%	0%	100%	0%	・面談等を通して保護者と情報共有し、支援内容について詳しく説明し理解していただく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。